

平治宿内外に物品棚と靴置き棚設置作業他

◇ 実施日 平成26年07月20日(日) 晴後曇夕方一時雨

◇ 21日(月) 晴時々曇

◇ 参加者 川島功、児嶋道夫、前田正、田中稔昭(1泊2日)

齊藤基樹・知子夫妻(2日記者)、

新翔高校・野間清先生と生徒(柏大幸君、山口裕也君、田中稜悟君)、沖崎吉信、生熊敏男、畑林清子、大江加予子、

湯川一郎、青木宏充(20日帰り:12名) 総勢16名。

下北山村役場駐車場で齊藤夫妻、白谷トンネル東口で青木さんと合流し白谷林道ゲートへ。

池郷林道は未だ安全に通行できないので、今回も白谷林道ゲート前で集合となった。当初は4〜5名の参加予定者であったが、当日近くになり急に人数が増え総勢16名の大勢となり、物資の荷揚げなど大変助かる人数となった。

ゲート前の栃の木のある広場で朝のミーティング。NHK記者齊藤さん夫人は今回初参加。新翔高校からは今回も参加頂けた。齊藤記者が山彦ぐるーぶの活動取材し、先日と歌山放送局で放映された番組を見た野間先生は、同校の先輩に当たる沖崎さんに気付き、それを契機に生徒の見聞を広げるため誘って参加頂いているとのこと。生徒の柏君は3度目の参加。新宮山彦ぐるーぶが今後も継続して行くには、このような新たな若い人達に認知され、

協力頂けることが大変重要だと思う。

08:50ゲートを出発、持経宿までの林道の状態は良好で、09:30持経宿に到着。資材(アルミ脚立・ブロック4個など)・大工道具・食料などを手分けし荷作りする間に、沖崎さん差し入れの未だ値の高いハウスマイカンが配られる、冷えていて美味しい。

平治宿へ出発し千年檜祠で、生熊さん導師に参加者の峰中安全と玉岡さんの病氣平癒を願って般若心経を皆で唱和。



持経宿出発の新翔高校の皆さん 千年檜祠で峰中安全の勤行

11:00 平治宿着、先ずは青木さんと新翔高校の生徒諸君に水汲みに行つて貰う。生熊さんには、水場径の支谷に下りるアルミ梯子段下の栈木が外れて下りづらく補修してもらおう。

その間、小屋内梁上に在る棚用の材木を降ろす者。コーヒー沸しの焚き火を燃やす者。児嶋・湯川さんは、囲炉裏に土を入れる。その後児嶋さんは、耐火煉瓦を積み直し、ロケットストーブ及び

煙突を追加延長して本設置に取組んで下さる。棚の形と寸法の下打合せをする者などに分かれて、ことは進む。

水汲みと段差の補修を終えて戻った時点で昼食とする。



歓談しながら昼食



参加者の記念撮影

12:40 各自持参の昼食を取り終わった後、引き続きストーブ設置の児嶋さん、棚作成班の前田・川島・田中は、先ず第一の棚について意識合わせをする。設置場所は小屋奥右側壁、サイズは幅175cm・奥行き65cm・棚は二段で一段目高さ90cm・二段目までの高さ80cm。
床から一段目までの高さ90cmには理由がある。川島さんが考え抜いたもので、宿泊者が大勢の時、棚下で寝て起き上がったも頭を打たない高さであり、床面積を最大限生かす思案の結果である。自分も経験上思うには、一所懸命考え抜いたら良い智慧が出てくるものである。

参加者で記念撮影後、13:00 日帰りの12名は、持経宿に向け出発。持経宿に戻り、縁の下の薪を薪置場に一部運び、整理して道具類を置く作業をして下山したことが後で判った。

泊り組四人は、ストーブ設置を終えた児嶋さんも棚設置に加わり、休憩のコーヒータ임も取らず作業に集中した結果17:00には第一の棚が完成してしまふ、想定外の早さで出来た。その要因は、四人ともそれなりに経験を積んでいること、それ故に、自分は次に何を要求されているかが分かり先々と手が動くことであった。それに何よりも一つ、児嶋さんの仕事が速い。

夕方から夕立になり、外の部材を運び込む。

バッテリー持参の児嶋さんのお陰で、LED照明の下で楽しい食事・歓談となる。宿泊6名の予定が急遽4名に減り、食べきれない刺身・弁当。酒に下戸の人達なのでビールが飲みきれない。

20時前に、一人の男性が訪れ、明日本宮に下る為これから出来るだけ先に行くとの事、ビール1本を美味しく飲み小屋を発つ。

7月21日(月)

05:30起床→07:00 第二の棚作りに着手。棚の作りと用いる木材の丈夫さなどを議論・意識合わせを行い、早速児嶋・田中さんを主に作業着手。設置場所は、入り口から見て左側の壁の中央部分。
この棚は、梁から吊る形式の一段物で、棚の下を人が歩ける高さにする。サイズは、床から棚までの高さ175cm・幅2m15cm・奥行き40cm。息の合った作業はトントン拍子で進み、09:45には完成、僅か2時間半余りで出来た。この間、川島・前田で既設の棚幅が狭く、幅広のベニヤ板を重ね打ちし改修する。

私はこれで今回の作業は全て終わりと考えたのだが、川島さん

は次に靴置き棚を作れとおっしゃる。セメントも持ち上げ済みと。靴置き棚は段数が多いので今日中に終わるかなと懸念したが、作業着手、休憩なしである。しかし思った以上にはかどり、12:00には組立てが終わった。この頃には強い空腹感、早く昼飯を食いたあ〜い！

昼飯前に大阪堺市から来た60歳の元サラリーマンの人が、HPを見て来たと我々の作業をじっと観察、日帰りで池郷林道を歩いて上がって来たとのこと。時間に余裕があるらしく、昼飯と一緒に食べ、午後の作業を少し手伝ってくれ、我々は池郷林道を車で下る予定であり、一緒に下山することにする。

13:00 午後の作業を再開するも、残った作業は靴置き棚の柱元をセメントで固めることだけ。これも13:30には終了。

後日、クリアーのポリカーボネートの波板を張り完成する。

13:30-13:50 最終の棚整理、床の雑巾がけをする。小屋全体が大変スッキリした。前回7月6日と今回で、平治宿は見違える程美しくなった。



右奥の2段棚



左側中央の梁からの吊棚



玄関口の靴置場

そして思ったこと。カーペットを敷かない方が、清潔感があり美的であると。行仙宿も同様に思う。

13:50 美しくなった平治宿をもう一度見詰め、成果に対する達成感を覚えて、下山を始めた。

持経宿に戻ると、ゲートまで約1.5km地点で、路面が掘れ込んでいるので通行不可で戻った、白谷林道を下る様にと書き置がある。堺市の同行者を送る予定であったがここで分かれた。



材加工とロケットストーブ(本設置)

行動タイム

7/20 新宮7:00→8:15 下北山村役場 8:20→8:40 白谷林道ゲート 8:50
→9:30 持経宿 10:00→11:00 平治宿。 13:00 日帰り組下山。

13:00 第一の棚を作製設置 17:00。

尚、斉藤夫妻は、下北山村の旅館。青木さんは行仙宿、田中さんは「道の駅十津川」で前泊。

7/21 05:30 起床→07:00 第二の棚を作製設置 09:45→10:00 靴置き棚
を作製設置 13:30→棚整理と床拭き掃除→平治宿 13:50→14:45
持経宿 14:55→15:35 白谷林道ゲート 15:40。

田中さん(十津川へ)と新宮組は解散。(田中:記、川島:写真)